

平成27年5月16日(土)

八国山の将軍塚

水道道路から狭山公園を経て八国山の将軍塚へ

撮影；川鍋正義、編集；岡田正嗣、印刷；伊澤克夫

1. 開催日； 平成27年5月16日(土) 10時集合
2. 集合場所； 東大和市駅
3. 歩行コース； (ト)はトイレ
東大和市駅(ト)→水道道路→浄水場→武蔵大和駅(ト)→狭山公園(ト)→たいけんの里(ト)→
10:00 10:40 11:00 11:20 11:30 12:00
→北山公園(ト)(昼食)→八国山→将軍塚→ふるさと歴史館(ト)→東村山駅→東大和市駅→(ク)ス会
12:15 13:00 13:30 14:30 15:00 15:30 16:00

東大和市駅前に本日の参加者集合



東大和市駅から東に向かい出発



野火止用水脇を散策





「あばへぼ（粟穂、稗穂）」
昔は、穀物の豊作を願って小正月にあばへぼの行事をしました。
鉋や鎌を使って、背の高さくらいの青竹の先を九本に割り、よくしなうようにするため火であぶりませます。その先に二十センチ位に切った、にわこ、かつんぼう（かつの木、松などの木で穂や花を作り、さします。）
のつてん（頂点）には、葉のついた竹の小枝をさし、にわこの木で作った花を二本さし、一年分計十二本飾りつけます。
きれいに飾った竹を、庭先の堆肥の山にさし、水とお米をお供えて、一年間の豊作をお願いしました。
にわこは黄色いので粟、かつんぼうは黒いので稗、皮をむいた松は白いで米を表すそうです。
十センチ位に切った、この三本の木をわらでくくり、横に見立て、家の中の大神宮様、荒神様にお供えて豊作を願いました。
—東大和のよもやまばなしから—
この作品は、あばへぼをイメージし、東大和市美術工芸品設置事業の一環として製作したものです。
平成六年宮崎市

モニュメント；あばへぼ(東大和市には27種のモニュメントがある)



「狭山丘陵の古狸」
狭山丘陵のくぼ地にあった農家が、養鶏をしていました。
ところが、その農家の大切な鶏が、毎晩一羽ずついなくなりはじめました。困った農家の人が囲いをきつちりと直しても、必ずいなくなってしまう。
ある朝、井戸の調子が悪いので、農家の人が井戸をのぞいてみると、そこに急いで引き上げると、なんとそれはころころと太った古狸だったそうです。
たぶん、この古狸は、鶏一羽を食べ、満腹になって気がゆるんでしまい、あやまって井戸に転落したのでしょう。それ以来、鶏が盗まれることはなくなりました。
狭山丘陵にも以前は狸が沢山いましたが、最近では、めつきりその姿を見かけることはなくなっていました。
—東大和のよもやまばなしから—
この作品は、狭山丘陵の古狸をイメージし、東大和市美術工芸品設置事業の一環として製作したものです。
平成五年度製作



モニュメント；狭山丘陵の古狸



紅白のバラの美しい家がありこの前で記念撮影





新青梅街道に出て歩道橋
を渡る



遊歩道を進む



大きな犬との出会い、その他にも多少事件あり！！





武蔵大和駅に到着



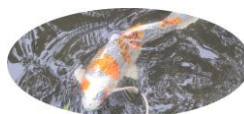
ここより多摩湖の堤防下へ



多摩湖の堤防を見上げる



太陽の広場で休憩



北川に沿って歩く(錦鯉を発見)

北山公園



休憩所で昼食



菖蒲園の散策

